

<b>財団法人 8020 推進財団</b> <b>平成 19 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</b>	
<b>1. 事業名</b>	：健口ウォーキングによる健康づくり運動について (住民参加型から地域住民が主体となる地域歯科保健活動へ)
<b>2. 申請者名</b>	：神奈川県相模原市富士見 6-1-1 社団法人相模原市歯科医師会 会長 河原 武彦
<b>3. 実施組織</b>	：相模原市歯科保健推進協議会 〔相模原市歯科医師会が事業主体となり、さがみはら市民健康づくり会議、相模原市食生活改善推進団体わかかな会、相模原市健康づくり普及員連絡会、県歯科衛生士会相模原支部及び相模原市保健所で協議会を構成する〕
<b>4. 事業の概要</b>	： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 住民団体による地域歯科保健活動への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科保健活動推進員養成講習会の開催</li> <li>2) 地域において健康づくり団体が連携して、歯の健康や歯科の受診行動に結びつける事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 歯科医師、歯科衛生士の派遣 ② ガム検査への歯科衛生士の派遣、キシリトールガムの提供</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 健口ウォーキング手帳の交付・歩行記録者表彰</li> <li>(3) 協議会による啓発活動</li> <li>(4) 相模原市歯科保健推進協議会の開催</li> </ul>
<b>5. 事業の内容</b>	： <p>「健口ウォーキングによる健康づくり運動」も 2 年目を迎え住民参加型から住民主体となる歯科保健活動を目指し、健康づくり団体や行政と連携して、歯とお口の健康、市民の健康づくりを支援した。健口ウォーキング手帳を活用して「歯の健康」と「運動習慣」のモチベーションを高めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域で活動する健康づくり団体への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 歯科保健活動推進員養成講習会 平成 19 年 6 月 18 日(月) 参加者 75 名 目的 歯の健康に関係が深い食に関する活動を展開している食生活改善推進団体わかかな会会員を対象に開催した。</li> <li>2) 地域健康づくり団体が行った活動に対する支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市健康づくり普及員連絡会開催「お口の健康セミナー」 4 回 参加人員 120 名、</li> <li>・食生活改善推進団体わかかな会主催「食と歯の健康セミナー」 3 回 参加人員 93 名、</li> <li>・ガムを使った地域での歯科保健普及啓発活動</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 健口ウォーキング手帳の活用 手帳の配布(平成 18 年 10 月～平成 20 年 3 月) 5, 577 冊 歩行記録者表彰 表彰者 5 名</li> <li>(3) 協議会による歯科保健啓発活動 調理講習会、健康ウォーキングセミナーでの PR (4) 相模原市歯科保健推進協議会 委員 19 名 2 回開催</li> </ul>
<b>6. 実施後の評価(今後の課題)</b>	： <p>「健口ウォーキングによる健康づくり運動」を通じて地域の健康づくり活動の中に歯科保健の分野への新たな広がりをもたらしており、活動の成果が今後現れてくるものと考えている。今まで「お口の健康」にあまり関心を示さなかった地域の方々にも「おいしく楽しく、食べるためには、お口の健康が重要である」ということを認識していただき、「お口の健康」の意識啓発ができた。また、今年度から始めた住民主体の運動展開のツールにガムを使った咀嚼力判定検査は、色による判定が分かり易く多くの参加があり「歯の健康」の啓発に有効な手段であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 住民団体の歯科保健活動への支援 参加者はセミナーを受講して口腔衛生についての知識を習得したとの感想が多く、今後も地域住民に向けた歯科保健の啓発が必要かつ有効であると感じられた。</li> <li>(2) ガム検査の結果について 公民館まつりのイベントに参加し啓発活動の新しい企画として咀嚼力判定ガムを使った「お口の健康づくり」への関心を高める事業として実施した。参加者にはアンケートで口腔衛生の状態や意識、咀嚼力のほか、ガム検査の体験を受けたあとの受診意識の変化などの項目を設けた。定期健診を受けてみようと思った者は、26.4%であった。</li> <li>(3) 定期健診の意識付け 市民のお口の健康への関心を高め、毎日のセルフケアや歯科医院での定期検診を受ける動機付けとなり歯周疾患検診の受診率の向上を目標とした。市域の老人保健法の歯周疾患検診の平成 19 年度の受診率は、若干増加傾向となっている。</li> </ul>